

資料 1

セミナー 「わが国における今後の農業環境・資源保全政策を考える」

趣 旨 説 明

1 セミナーの概要

- ・ 農林水産政策科学研究委託事業（「農業分野における資源・環境保全のための総合的政策の構築にかかわる研究」）の主要研究成果を報告
- ・ わが国のほか米国、豪州の専門家や実務家からの講演
- ・ 今後の農業環境・資源保全政策を広角的に検討

2 委託研究の概要

- ・ 資源や環境の保全は、持続可能な農業生産システムを構築するために重要
- ・ OECD 諸国の動向によれば、農業環境・資源政策の重要性はさらに増加が期待されるが、その手法をめぐっては十分に開発されているとはいえない
- ・ 従来の公的規制や補助金の手法だけでなく、その短所を補完するかもしれない市場的な手法についても検討に値する
- ・ 総合的な農業環境・資源政策の確立に向けた分析枠組みを提案し、政策立案者による効率的・効果的な作業を支援することを目的とする研究プロジェクトを3カ年実施。

3 委託研究の成果

- ① EU、米国、豪州の農業環境・資源政策を横断的に概観
- ② 農業環境・資源政策の評価の際のチェックポイント（分析枠組み）の開発
- ③ 先進諸国の実態と評価を踏まえた農業環境・資源政策の課題析出（④～⑥）
- ④ 農業環境政策におけるレファランスレベルの解釈 ←環境支払いの理論的根拠の曖昧さ
- ⑤ 集团的環境支払オークションの社会実験 ←集团的行為の促進の重要性
- ⑥ 農業環境サービスの非政府供給の新たな可能性の検討 ←市場的手法の革新

4 研究成果のインパクトの可能性

- ・ 多面的機能の発揮のための合理的な納税者負担型農政に向けた検討素材の提供
- ・ わが国における市場的手法を補完的に導入した総合的な農業環境・資源政策の議論の端緒

5 農業環境・資源保全政策に関する広角的な議論の必要性

- ・ 市場的な手法導入の先駆的ケース（豪州・米国）の経験
- ・ わが国の農村環境資源保全の現場からの挑戦
- ・ 政府機関による政策研究の視点